

【演題名】

小学生の食事に含まれる脂質・n-3系・n-6系脂肪酸とマイボーム腺機能との関係

【ショートタイトル演題名】

小学生の脂質摂取とマイボーム腺

【英文タイトル】

Relation between Dietary Fatty Acids and Meibomian Gland Function in Children

【英文ショートタイトル】

Dietary Fat & Meibomian Glands

【演者】

○福岡詩麻¹⁾³⁾、溝口尚則²⁾⁴⁾、児林聡美⁵⁾、佐々木敏⁵⁾、有田玲子²⁾⁶⁾

1) 大宮はまだ眼科西口分院 2) LIME 研究会 3) 東京大

4) 溝口眼科 5) 東京大社会予防疫学 6) 伊藤医院

【目的】小学生の食事に含まれる総脂質(FA)、n-3系、n-6系脂肪酸(各n-3、n-6)、n-6/n-3比とマイボーム腺機能との関係について検討を行った。

【方法】対象は、小学校3年生の児童80名(男児40名、平均8.3±0.5歳)。簡易型自記式食事歴法質問票を用いて、エネルギー調整済みFA・n-3・n-6摂取量(g/日)を推定した。涙液光干渉像、マイバム混濁に対するFAとn-3・n-6摂取量、n-6/n-3比に関してLogistic回帰分析を用いてオッズ比を推定した。

【結果】平均摂取量(g/日)は、FA 56.3±9.7、n-3 2.1±0.5、n-6 10.3±2.3、n-6/n-3比 5.0±0.9であった。全体80名中、涙液光干渉像で干渉縞無(蒸発亢進型ドライアイタイプ)は14名(18%)、マイバム混濁有は43名(59%)であった。3位層別で摂取量最多群と最少群との調整後オッズ比(95%CI)(年齢、アレルギー有無、各栄養素で調整)は、干渉縞有無については、FA 1.05(0.06、17.05)、n-3 15.44(0.85、280.61)、n-6 0.48(0.02、9.03)、n-6/n-3比 24.26(1.51、389.28)であった。マイバム混濁については、FA 1.08(0.27、4.32)、n-3 0.45(0.07、2.96)、n-6 3.29(0.53、20.62)、n-6/n-3比 0.59(0.13、2.66)であった。

【結論】小学生において、n-6/n-3比増加により、涙液油層菲薄化に伴う涙液安定性悪化が増加する可能性が示唆された。脂質摂取とマイバム混濁に関して有意な関係はなかった。